

議場が変わった、議論も変わった！

～対面式演壇で、わかりやすい質疑へ～

さいたま市議会は、議会改革の一環として、対面式の演壇を設置する議場改修を行い、9月議会から新しい形での議論をスタートさせました。

今までは、市長をはじめとした執行部に対して質問するのに、市長側に背を向け、議員仲間に向かって質問する形になっていました。改修によって、きちんと対峙する形の演壇とすると同時に、質問項目ごとに短く質問と答えのやりとりができる質問形式へと変化させました。

実際に9月議会で代表質問、一般質問が行われた感想ですが、質疑がわかりやすくなった②再質問などの追及が深くなったという2点が、実際効果として現れていたと思います。これからも、改修議場をいかした、深い質疑が求められます！

高木まりの本会議質問は、2月議会となる予定です

執行部はこちら側



質問者の様子などを映すスクリーン

★対面式演壇。ここから質問。

その他、9月議会での主な動き>>

- 勤労女性ホームをコミュニティ施設にする条例が可決しました。
- 市税と国保税の徴収を一体的に処理する（仮称）債権整理推進室開設準備事業に関する補正予算が可決しました。
- 民主党・無所属の会から「さいたま市自転車の安全な利用を促進する条例」を提出しました。



●予算要望● H23年度に向けた第一弾の予算要望を会派にて行いました。第二弾は、会派実施の事業仕分けの結果に基づき、追加の要望事項を盛り込んでいく予定です。

「社会保険病院の基盤整備法案の早期成立を求める意見書」を提案

社会保険病院は、現在、全国で地域医療を担う拠点となっていることから、全国でその存続を求める声が強くなっています。政府も第二国立病院化して存続する方針ですが、国会情勢により、暫定措置を決めるに留まっており、運営主体の基盤組織を決める法案ができていません。

北区の社会保険大宮総合病院は、市の必死の努力にもかかわらず、譲渡先の展望が開けておらず、建て替え問題への対応をはかるにも、基盤整備法案の成立は不可欠です。高木まりは、この問題に国が早期に取り組むよう、所属会派より意見書の提出を提案しましたが、他会派の賛同が得られず、提出できませんでした。

高木まり市政報告会・プロジェクトミーティングのお知らせ

市の様々なことを高木からご報告させていただくとともに、会場の皆さんから自由にご意見やご質問をいただく会です。当日ぶらりとご参加ください。

● ●とき：11月28日（日）14:00～16:00 ●テーマ：「事業仕分けから見える、ムダ削減」

●ところ：プラザノース第7セミナールーム さいたま市北区宮原町1丁目852番地1 TEL:048-653-9255

*駐車場あり *電車：ニューシャトル「加茂宮駅」徒歩5分 *バス：JR宮原駅より「メディカルセンター行き」本郷住宅下車/JR大宮駅より「上尾行き」北区役所下車

今年には猛暑と長引く暑さから一転、冬の寒さが訪れるなど異常気象ですが、皆さん、体調は大丈夫ですか？

街の中には、来年の統一地方選挙に向けたポスターもちらほらと目立つようになりまして。さいたま市議会も選挙が近づいてきた影響か、各会派とも、独自性のアピールが目立ち、対立の場面が増えていきます。

来春の挑戦は県政への挑戦となりましたが、さいたま市政に対して悔いのないよう、残りの任期をせいりばい活動していきたいと思っております。

一期目の途中で生まれた長女が来春にはつばさの一年生。月日はあっという間に過ぎていきますが、引き続き子育て現場から感じる政策についても、発言を続けてまいります。（高木）

編集後記